

<小卓話> 一生成香 No.2「選ばれた人」

研修リーダー 菊地 平

私たちは、多くの方々の期待とお力いただき JapanCurrent が国際ロータリーから認証され正式にクラブ員となりました。関係いただいた方々の労苦は大変なものであったと思います。心からの感謝と新たな誓いをいたしましょう。

私たちは、それぞれ推薦をいただき、「選ばれた人」になったのです。そう言うもののロータリーは入りたくても入れないところですが、時として入りたくなくても推薦あって、いつの間にか入れてくれることもあるところです。そしてクラブは金儲けは出来ませんが、人儲けの出来るところです。また、気の抜けない ところですが、息抜きの出来るところと言われています。

さて「選ばれた人」ということで「ノブレス・オブリージュ」についての話とします。これはヨーロッパでは騎士道として考えられ、アメリカに起源をもつロータリーは実業人の騎士道に外ならなかったと言えます。さしずめ日本では「武士道」ということでしょうか。

1936 年 1 月、英国皇帝エドワード 8 世は、即位早々から、シンプソン夫人との恋愛事件を起こし英国議会で問題化したのでした。いわゆる「王冠を賭けた恋」であります。

シンプソン夫人の経歴から、議会はこの結婚を反対して皇帝の退位を迫ったのです。英国議会はその最終採決の段階に至って、一共産党議員から皆の肺腑を衝く 痛烈な言葉をあびせられたのです、——曰く、「皇帝に退位を迫る議員諸侯の皆さん、皇帝の、また夫人の素行を色々あげつらっているが、さて、あなた方自身の素行はどうなんですか？あなた方の私生活、蔭の行状は果たしてどうなのか？顧みてこの中の何人に皇帝を責める資格があるのか？汝ら罪なき者まず石を打て！」——この聖書にある殺し文句で迫られて、議場は一瞬たじろぎ静まり返ってしまったのでした。

——すると宰相ボールドウィンが立ち上がり沈痛な面持ちでこう答えたのです。

——「確かに、議員が言うように、我々には誰一人として皇帝を責める資格は無い。然し陛下は世界の海に君臨する大英帝国の皇帝である。帝国の象徴である皇帝は、その私生活においても、国民の模範として完璧でなければならない。

これを我々と同列に論ずることはできないのだ！」——これによって、議会は、かの一議員を除く全員一致の採決を持って皇帝の退位を決議し、弟のジョージ 6 世が即位したのです。

その後 7 つの海を失った英国は、一部王室の色恋の醜聞にまみれていますが、「汝ら罪なき者、まず石を打て！」というのは、聖書の有名な逸話であります。

2005 年国際協議会にガバナーエレクトとして参加した時～～「新渡戸稲造の武士道」を精読してくるようにとの宿題が与えられたものです。